



決勝レース 2 レポート

2010/11/14 JAF グランプリ 富士スプリントカップ

天候：曇り 気温：17℃ 出走台数：15 台

観客数：12 日(金)9,500 人 13 日(土)23,000 人 14 日(日)33,000 人

富士スプリントカップ 2 日目、昨日のレース 1 ではこれぞフォーミュラレースという激しいバトルが随所で見られた。2010 シーズン最後のレースとなる今日のレース 2 は、レース 1 以上に熱いバトルが展開された。

レース 2 のスターティンググリッドは、予選ラップタイム順となり、予選でトラブルを負ったデュバル選手は 12 番グリッド、伊沢選手は表彰台を十分狙える 4 番グリッドからのスタートとなる。

昨日に続き、スターティンググリッドで他車の戦略を読んだチームは、デュバル選手のウイングバランスを再調整、より高速寄りのセットアップを施す。

注目された伊沢選手のスタートだったが、動き出しは良かったもののホイールスピンをしてしまい若干後退してしまう、しかし 1-2 コーナーで粘りポジション 4 はキープした。

デュバル選手は会心のスタートで 12 番手から一気に 7 番手までポジションアップする。

伊沢・デュバル両選手はポジションアップを狙いじりじりと前車との差を詰め、デュバル選手は 8 周目に 6 番手、さらに 12 周目には 5 番手にポジションをあげる。

この時点で伊沢選手 4 番手、デュバル選手 5 番手のチーム内バトルへ。

7 周にわたる同部屋対決は激しく、しかしフェアに展開しファンを沸かせた。

終盤アンダーステア傾向が出たデュバル選手は伊沢選手に届かず 結果、伊沢選手 4 位、デュバル選手 5 位で 2010 シーズン最後のレースを終えた。

1：ロイックデュバル選手 レース 2 5 位

とても楽しいレースでした。スタートも良く、レース中盤まではペースも速くて、伊沢選手とのバトルも 皆様には少しひやひやさせたかもしれませんが、とてもフェアでエキサイティングでした。

移籍 1 年目ですが、チームとはすぐにお互いを理解し、尊敬しあい、素晴らしいシーズンを過ごす事が出来ました。チャンピオンは最終戦で惜しくも逃しましたが、今年のシリーズ 3 位はこれまでで最も誇りに思える結果です。

2:伊沢拓也 選手 レース 2 4 位

スタートの失敗がすべてでした。ペースは良いのですが、ストレートで抜くまでには至らず、表彰台を獲得できなかったのは残念ですし、期待して応援していただいた皆様にも申し訳ない気持ちでいっぱいです。今シーズンはレース環境も良く、速さも付いて来ているのですが、結果として残せないレースが続いたのが反省点です。もっと強くなって、また来シーズンも皆様と共に戦いたいです。応援本当にありがとうございました。